

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

令和3年
12月1日

NO. 125

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA



彩の国

就任挨拶

公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会

女性委員長 玉水 きみ子



この度、県老連女性委員長という重責を担う事になりました。玉水きみ子と申します。代々の委員長が大切に育ててきたこの委員会の責任を痛感しております。皆さまと協力して一生懸命がんばって参りますのでどうぞ宜しくお願いします。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今まで経験したことのない影響により、県老連の行事は、大幅な制約を受けました。そして、行事の延期や中止を余儀なくされ、さびしい日々を過ごして参りました。このような中、埼玉県老人ク

ラブ連合会の前任でご活躍された新藤亨弘会長が、令和2年度に「電話等による友愛活動マニユアル」の推進を提案されました。そして県老連から具体的な実施方針が示され、元気を届け、心の支えになりました!! を合言葉に、電話や声かけ、会員の安否確認等の活動を行って参りました。進めてゆく中で各市町村老連で大きな成果が見られたと思います。

2025年には「3人に1人」が認知症になると聞いております。認知症にならないためにも日頃身体をを動かし、地域の仲間と支え合い、日々刺激を受けながら予防をし、皆様と一緒に力を合わせて健康長寿を目指して参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

クラブ活動は新しい生活様式で①

◆全老連はこの度、コロナ禍における指針「クラブ活動は新しい生活様式で」を提示しています。その内容は、次のとおりになっています。(「クラブ活動は新しい生活様式で」より抜粋)

- ① 参加に向けての留意点
- ② 屋内で行う活動
- ③ 屋外で行う活動
- ④ コロナに負けない健康づくり



クラブ活動は新しい生活様式で②

参加に向けての留意点

「新しい生活様式」を実践して、クラブ活動を楽しみましょう!



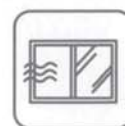
距離をとろう



マスクの着用



手洗い、手指の消毒



こまめに換気

- 体調を確認してから参加する。体調の悪いときは休む。
- マスクを着用し、咳エチケットを心がける。
- こまめに手洗い、手指の消毒をする。
- 人と接するときは、間隔をとる。*できれば前後左右1m以上あける。
- 会話をする時は、正面に立たない。
- のどが渇く前に、こまめに水分補給をする。
- 屋外でも人混みに近づいたり、大きな声で話しかけるのは避ける。



熱中症に注意!

マスクを着けると気づかぬうちに水分が不足し脱水状態になるなど、体温調節がしづらくなります。激しい運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。*気温・湿度が高い時は要注意。

屋外で十分な距離(人との距離が2m以上)がとれている場合は、マスクの着用は不要です。



125号
特集

川越市老連による声かけ

活動の取り組みの現状について①

◆「電話等による友愛活動の推進」協議開始

7月22日発行の「彩愛クラブ埼玉」121号に掲載。川越市老連では、令和2年6月13日に社会奉仕部の有志5名（社会奉仕部に所属する理事）に集まって頂き「声かけ運動（案）川越バージョン2020」を協議した。結論は6月末までに小林が集約し、7月13日に原会長に報告し了解を頂いた。

10月2日の理事会に社会奉仕部の事業として「声かけ活動」を提案し、反対意見が多かったが、妥協して可決された。理事会の結論は「各支部が必要に応じて行い。活動のやり方を説明する義務はない。」その時の理事会の反対意見は下記の通り…



❶ なぜ、反対するのか？ →反対する人の立場から考えてみる。

- (1) そんなことめんどくさい。→会員のことは判っているので「声かけ」は不要だ。
- (2) 仕事が増えるのは、いやだ。→「声かけ」は余計だ。
- (3) 電話等による「声かけ」が気に入らない。
 - 近頃不審な電話が掛かってくるので出ないようにしている。
 - 電話代は払ってくれるのか。
- (4) 「声かけ」は老人会の仕事とは思わない。
 - 自治会や民生委員の仕事だ。
 - 民生委員や自治会活動が活発な地域では、老人会が行うと非難中傷があるようだ。
- (5) 声かけで、相手の様子を記録するは反対だ。
 - 体調は、各自のプライバシーだ。他人に知られたくない。
- (6) 一人暮らしを特定するのは反対だ。→世間は物騒だから一人暮らしを知られたくない。

◆これが10月の川越市老連の理事会の
討議の様子の一部です。



❷ なぜ？スタートできたのか

◆県老連事務局の指導により、問題点を改善した。

- (1) 班長が負担と思わないようにした。
- (2) 出来るだけ、手間をはぶいて、簡単にした。
- (3) 文字を書くのが苦手の人でもやれるようにした。
 - 「気づいたこと」の内容を記号化した。
- (4) 現在、友愛活動に取り組んでいる単位クラブには、
 - そのままのやり方で協力していただいた。
- (5) 地域毎に事情があり、やり方も違う。
 - 地地域毎に、やりやすい取り組み方に任せた
- (6) 相手の様子を、細かく分類はしない方が良い。
 - 体調良好と体調不調の2分類とした。
 - 個人名と一人暮らしの公表は単位クラブのみ、他の集計では含まない。



❸ 訪問できる仕組みをつくる

- (1) 文書（月間予定表、お知らせ、広報紙）を月1回発行。配布しながら安否確認。
 - 文書配布時に「声かけ」を行うことは、班長さんが負担を感じない。
 - 訪問にきた理由の説明が不要のため気楽に出来た。
- (2) 個人情報の漏洩をしない約束をした。

❹ 「声かけ」のやり方別問題点

- (1) 電話の問題点
 - ① 固定電話を廃止して、携帯電話に換えたひとがいた。
 - ② 留守電が多くて、連絡がすぐとれなかった。
 - ③ 耳が遠い人には使えない。
- (2) メールの問題点
 - ① メールの操作をできる人が少なかった。→今後、勉強会が必要。
 - ② メールを覚えれば、利点がある。→相手の都合に左右されない。
 - ③ メール内容は残る→耳が遠い人にも使える。



125号
特集

川越市老連による声かけ

活動の取り組みの現状について②

(3) 訪問の問題点

- ① 耳が遠い人は、出てこなかった⇒メモを投函して連絡を待った。
- ② 気難しい人は、合ってくれなかった。⇒民生委員さんに、お願いした。
- ③ 一人暮らしの人は、姿見て様子を確認した。⇒メモだけで終わりとしなかった。

(4) 目配りの問題点

- ① 見た目では体調が確認出来ない。



(5) 「相手の様子」の問題点

- ① 大多数の方が何らかの病で通院したり、治療を受けている。
- ② 体調の好調・不調の基準を明確化した。
 - ⇒ 体調が不調 = ① 病院に入院した人 ② 老人ホームに入所した人
 - ③ 家で寝たきりの人 ④ ケガをした人
- ⇒ 体調が好調 = 上記以外の人。ひざ、腰が痛い人、定期的に通院している人
日常生活に支障がない人は好調と判断した。



(6) 「気づいたこと」記入の問題点

- ⇒ ① 文字が下手な人、書き慣れない人には苦痛だ。

記号化 = ■ 病院へ入院 □ 家で寝たきり

△ 老人ホームへ入所 ▼ ケガ

これらは、一例です。皆さんで考えてください。



5 集計業務と用紙の問題点

- ① マニュアルは単位クラブの全班長に配布せよ。

⇒ 約700部を作成して配布した。

- ② 記入用紙の準備枚数が多い。

- ⇒ 班長用 700枚
- 会長用 100枚
- 支部長 20枚



6 説明会の問題点

- (1) 社会奉仕部で出前説明会を計画したが「コロナの緊急事態宣言」が数日後の発令。各地域の公民館等の使用が禁止となり、各支部・単位クラブが自主的に実施した。

7 報告

- (1) 各単位クラブの役員会で毎月班長より報告を受ける。
- (2) 会長は記録をまとめ支部長に報告する。
- (3) 支部長は、3ヶ月毎に記録を集計して、事務局に提出。
 - ⇒ 提出順序 = 会長→支部長→事務強→社会奉仕部

8 集計

- (1) 社会奉仕部にて、3ヶ月毎に集計する。
- (2) 毎年4月末に、県老連へ1年間の実績報告書を提出。



編集後記

新型コロナウイルス禍が問題になって、すぐに社会奉仕部の有志で見守りの対策を検討してきた。「この社会情勢下で会員の健康状態を把握することは老人会の責務」と考え推進してきました。市老連各位のご理解とご協力のもと、予想以上の協力体制がとれました。誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

川越市老連 社会奉仕部 小林松十郎

川越市老連

「声かけ活動」発表会

川越市老連・社会奉仕部主催の「声かけ活動発表会」が10月25日(月)午後1時30分より、川越市オアシス3階会議室で、県老連落合事務局長をお迎えして開催された。

●開会式 事務局鈴木氏の司会で、千明副会長の開会の挨拶。続いて、原会長の挨拶。次に、県老連落合事務局長の来賓挨拶で開会式は終了。



① 社会奉仕部長の報告

①「声かけ活動」の記録した資料を百三十部作成して全単位クラブに配布する。
②支部別に単位クラブの協力度を加味し、優秀賞・努力賞・参加賞を来年の定期大会で贈呈する。

③来年の一月に10月～12月分を提出する。

④第4回部会は、講習会とする。「相続税の改定」の説明会を実施。



- 第二章 市老連の活動実績の紹介
- 第三章 支部別活動状況の報告
- 第二章 活動方針・記入用紙記入の仕方・報
- 第一章 声かけ活動の資料を作成

③ 発表会

出席者は各支部代表18名。発表は、各支部5分間。第一支部より順に行った。



▼ 司会進行

石田部長補佐と市瀬副部長



▼ 映像担当

今野副部長



▼ 第一支部

八木沢氏



①対応はコロナの影響でしにくい。
②一人暮らしの方の窓口はケアマネージャにお願いした

▼ 古谷支部

本木氏



①生活支援サポーターの方にお願いした。
②地域でやりやすい方法。

▼ 南古谷支部

天野氏



①各班でリストアップ。目配りを重点。
②日常判っているので負担。

▼ 高階支部

宮岡氏 (優秀賞)



①コロナ感染防止を重視。
②18単会の大分が協力的で助かる。

▼ 大東支部

千明氏



①電話を掛けるのに抵抗感(男→女)
②データの処理

▼ 霞ヶ関北支部

和田氏



①孤立させない仲間づくり。
②体調の判断基準が最初と変化している。

▼ 高階支部

小嶋氏 (優秀賞)



①反対意見が多く大変だ。
②訪問したら反応が良かったので交代(前担当者が死亡したので交代)

▼ 川鶴支部

市瀬氏



①単会会長が交代したら拒否。
②訪問しても身体の間は聞きにくい。

▼ 第三支部

秋庭氏



①支部での参加は「長寿会」のみ参加。

▼ 第四支部

渡辺氏



①電話での対応が多かった。
②老人の日に集中的に活動した。

▼ 第五支部

今野氏 (優秀賞)



①全班长さんに感謝状を渡した。
②毎月「我が町の散歩路」を発行。班長さんが訪問して配布。

▼ 第六支部

藤澤氏



①地元の情報は日常把握している。改めてやる必要がない。

▼ 第七支部

石田氏



①基本台帳により班別に実施した。
②声かけで会員のワクチン接種状況が把握出来た。
③メールの研修会が必要。

▼ 第八支部

小林氏



①班別の基本台帳を作成。
②毎月広報紙を発行。配布しながら声かけ。

▼ 第九支部

加藤氏



①声かけは老人会の仕事ではない。
②頻繁にすると退会する。

▼ 第十一部

梶野氏



①始めはやる気がなかった。
②目配り・気配りが強くなった。

③友愛活動推進は他の方法もあるだろうと思う。

広報委員会副委員長 五十嵐 博一氏 さいたま市 (中央区)
成田委員長を越える溫和派。地域の事なら生き字引。与野の御老公様。
経験豊かな社会人としての生き方が紙面に反映しています。
趣味：グラウンド・ゴルフ
好きな歌手・俳優など：水前寺清子



広報委員会委員長 成田 準之助氏 春日部市
大変溫和で、編集内容で意見がぶつかると、行司役として見事な采配。「筆者の気持ち尊重しましょう！」で、脱線をコントロール。一件落着きます。
これは、編集の基本。みなさんの記事も筆者尊重します。
たくさん投稿ください。
趣味：仏画
好きな歌手・俳優など：上原謙



広報委員 小林 松十郎氏 川越市
川越の行動派。今は免許を返納したが、県の西域を軽ワゴン車でくまなく取材で訪問。いまは鉄道利用で相変わらず行動範囲は狭まっていない。
川越の友愛活動のエンジン役。
趣味：宇宙・地球外生命体の画像放送
好きな歌手・俳優など：北島三郎



広報委員 北山 隆司氏 越谷市
昔取った「杵柄」で筆の実力は益々冴える。会報誌の体裁やレイアウトなど元締めの存在。毎年、夏には鰻職人になります。
趣味：ゴルフ、料理
好きな歌手・俳優など：石原裕次郎、三船敏郎（殺陣は豪快）



県老連広報委員です

お知らせ インターネットで過去の広報誌を見ることが出来ます。
インターネットの検索で「埼玉県老連」と検索してみてください。
広報誌の欄をクリック。バックナンバーが見られます。
ダウンロード可。

広報委員 納 美恵子氏 さいたま市 (緑区)
名字は(オサメ)と読みます。東京生まれ・東京育ち。
今年度から県老連理事就任。女性編集委員がしばらく不在だったが念願の女性が2名となりました。女性の活躍に期待してね！
緑区・さいたま市・埼玉県で勢力拡大中。
趣味：切り絵 (年に10点ほど挑戦)
好きな歌手・俳優など：井上陽水 (澄んだ声とアコースティックなバランスは最高)



広報委員 伊藤 史郎氏 新座市
新座の名物会長。幅広く活躍。
取り纏めの名人(迷人)。地域の垣根無しの活動はこれからの老人クラブ活動の新しい方向を目指している。発信情報に注目を！
趣味：人と歓談すること、登山
好きな歌手・俳優など：石原裕次郎、渡辺謙



広報委員 石川 みよ子氏 戸田市
納さんと同時に、女性編集委員になった。豊かな経験は期待大。
女性活躍の時代です。男目線でない広報誌に期待してね！
趣味：大正琴、折り紙
好きな歌手・俳優など：美空ひばり、石原裕次郎



広報委員 渡辺 充氏 さいたま市 (大宮区)
委員会では若手と言われても71歳。来いと言われてりやどこへでも行きます。
宇都宮線、高崎線、東武線など気にしないで取材します。
趣味：昔のGSやエレキギター演奏をYouTubeで楽しんでいる。
好きな歌手・俳優など：寺内タケシ、高倉健



戦争体験記

わたしの3月10日

昭和20年3月10日夜間1655トの爆弾が投下され火の海となった。東京への空襲は実はもっと以前から行なわれて居た。

B25による昭和17年4月18日。品川区の工場群・荒川区尾久の住宅。

昭和19年11月からは、B29による大規模で低空からの爆弾投下が行なわれ出した。



被害者が多人数となった背景には、住人達に消火活動を行なわせたため、多くの犠牲者を生んだ。3月10日以降は「逃げる！」に方針が変り爆弾投下量に比して犠牲者は減少した。4月13日滝野川区豊島区B29 326機 2038ト。4月15日蒲田・川崎の工場地帯B29 109機 754ト。

5月24日 荏原区・品川区・大森区・渋谷区 B29 520機3646ト。
5月25日26日 政府機関・宮城B29 464機3256ト。都心・三多摩

地区で死者数 約16万人。

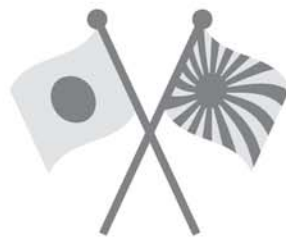
後半は機銃掃射も伴い一般の非戦闘員を狙い出しました。日本では小学生にまで軍事訓練をおこなっていたため日本人総てが戦闘員として攻撃対象でした。(東京大空襲概要)

昭和5年1月生まれ。ちょうど15歳になって間もない頃の出来事。当時は浅草の寿町(現 地下鉄銀座線田原町駅付近)に住んでいた。B29の姿を見て、「早く戦闘機に乗って、撃ち落とすしてやる」と強く思っていた。寒さも段々緩んできた3月。夜中に轟音と共にB29の大編隊が低空飛行でやって来た。その晩は家には両親だけ。炎で真っ赤に染まる方向を眺め恐怖心を抱いた。翌日我が家のあった所へ戻ったが家々は燃え尽きて焼死体があちらこちらに。まさに地獄。

ようやく母には巡り会った。父さんは？と聴くと、父は焼け死んでいた。



鬼畜米英をガッチリと頭に叩き込められてたので、「本当に、やつつけてヤル」と決心した。とりあえず



母の実家へ行くとなり、東武伊勢崎線の線路伝いを歩いて春日部にたどり着いた。やがて8月15日に敗戦となった。

残念無念の気持ちを今でも思い出す。

あれから76年。東京近辺の空襲で16万人が犠牲。戦地では補給も絶えて病死餓死した兵士200万人。

平和な社会(戦争の無い)が絶対に必要。

春日部市 成田 準之助

昭和20年8月15日

戦後76年、8月15日は私にとって忘れたくない一日である。

一般の人が云うお盆、終戦の日とは異なる日となっている。

昭和20年8月14日、今日は必ず熊谷に来ると云われており、夕食を早くすませて出る支度をしていたが、夕方になるとみんなが動き始め避難し始める。

我家も父が軍属で出征しており、母が弟を背負い、私が妹の手をとって避難する。市の北の方向に歩き始めるが、途中でもう空襲が始まり、町の中はも

う明るく焼け出して、火の手も上って始めて見る空襲の恐しさを知る。

家に戻るが、近くも皆丸焼け、近所の人たちも集っており、12時に天皇陛下の玉音放送があるとの事で聞かすが、話しがはつきりせずわからず、ただ戦争が終わったとの事だけがわかる。

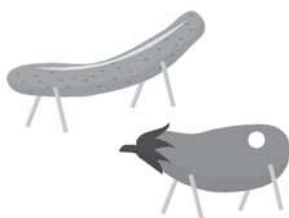
父の実家の叔父さんがリヤカーでむかえに来てくれて、父の実家におちつく、それから私の第2の人生となる。

父、母の実家は共に農家で、お客として行った時と、この様な事で行った時では相当な差異があった。ましてやいつまでと云うことでなく、母は父の実家から自分の生まれた所にと、3日4日で移動する。

ここも父の実家と同様で、母は住む家をさがして来て、すぐに引っ越す。母の実家にも大きな物置き小屋はあるが、すでに他人様が入っており残念。

まだ暑い日が多く、風も入らずうだるよう。冬になって赤城風は特に寒く、忘れられず。

さいたま市 五十嵐 博一



「反乱」

「貴様達は三月以内に鱧の餌食だ。死ぬまで絞ってやるからそう思え。分かったな」

これが太刀洗の飛行第九十八戦隊の作戦係曹長の、転属してきた我々少年機上電探兵11名に対する最初の挨拶であった。

浜松の飛行学校を卒業し、国分寺にある電波兵器多摩研究所（通称多摩研）で教育を受けるようになった頃から「鬼の九十八戦隊」という戦隊名が時折話題にのぼるようになった。

南方から転戦してきて本土防衛の任務を帯び、九州で爆撃隊から雷撃隊に装備を変えて、連日台湾沖や沖繩の敵艦船を攻撃しているのがこの飛行第九十八戦隊であった。この勇猛果敢な戦隊に配属された空中勤務者は、三ヶ月以内に敵艦の砲撃や艦載機の襲撃によって撃ち落とされ、鱧の餌食になってしまうというのだ。

昭和20年3月初旬、最終の教育隊で



ある水戸陸軍飛行学校の終了式の前夜、私はこの九十八戦隊への転属命令を受けた。まさか私がああ有名な「鬼の九十八戦隊」に配属されるとは夢にも思っていなかった。「もう駄目だな」と独り心に呟いてしまった。そして飛行学校で将来の希望の欄に「特攻隊」と書いたことや、「お前は13人兄弟の10番目で兄貴が7人も居るのだからいつ何処で死んでもいいな」と教官に念を押されたことなどを想い浮かべた。

弱冠15歳にして自ら進んで軍隊に志願し、聖戦に臨む者として国に殉ずる覚悟は堅固なものがあつたが、改めて最も熾烈な戦場に赴くことが確定されると、流石に心の動揺は隠すべくもなかった。

戦隊での特訓は「死ぬまで絞る」と言われたのとはおよそ程遠く、飛行学校の訓練に比較すると時間的にも肉体的にも楽なものであつた。

訓練は日没に太刀洗飛行場を飛び立ち、朝鮮海峡上空でタキー（電探）タキ13（電波高度計）と呼ばれる電波兵器の作動を続けながら、低空30mからの雷撃演習の反復であつた。

雷撃機は「キー67」で、別名「飛龍」と呼ばれ、搭乗員は航法、正副操縦、機上機関、無線、電探、向上砲、後砲の8名で私の任務は電探であつた。

夜間の訓練には事故がつきもので、訓練機が山に激突して炎上したり、海

上に不時着したり、着陸の際に脚を折り機体が大きく一回転したり、或いは照明弾の暴発で機体が焔に包まれ、海に落ちて全員が死亡するなど、不測の事故が頻発した。このような事故の現場は搭乗員には見せなかつた。事故の惨状を見て気後れからの戦意喪失を恐れたからである。

夏が近づくとつれて戦局は次第に敗色を深め、戦隊は太刀洗から直江、小松へと飛行場を変えながら、7月半ばには金華山沖に蠢動する敵機動部隊を捕捉攻撃するため、埼玉県の児玉飛行場へ移動した。

しかしその頃、制空権は完全に米空軍の手中にあり、執拗に襲来する艦載機の攻撃で出撃も儘ならず、出撃しても敵艦を発見することが出来ずに、魚雷を海に捨てて帰投するような状態が続き、児玉での戦果は見るべきものがなかつた。

そうこうするうちに8月15日の終戦を迎えた。正午の玉音放送のあと、動揺と緊迫の交錯する中に情報が乱れ飛び、厚木基地から海軍将校が零戦で児玉に飛来して蹶起を促す場面もあつた。それに呼応するかのようには、戦争継続を主張する下士官などが檄文を読み上げたり、空からビラを撒いたりして戦意回復を図つた。しかし混乱状態の中で指揮の統一を欠き、夜に入って究極的には魚雷を吊って陸軍省へ自爆しようということになった。残つた飛

行機は20機程であつたらうか。これらの飛行機にそれぞれ1屯魚雷を装着して陸軍省に突込み機体もろとも自爆しようというのだ。

悲壮な決意のもとに夜の飛行場で発進態勢を整えつつあつた時、一人の高級将校が側車で乗りつけ滑走路に降り立った。航空師団長であつた。「誰の命令でやったのか」師団長に怒鳴られて皆不動の姿勢をとり師団長に注目した。

「お前達の気持ちはよく分かるが、今死ぬのは犬死にである。日本はまだ敗けてはいない。那須の飛行場には特攻機が200機も隠してある。敵が上陸してきた時、その特攻機で突つ込め、その時は緊急召集する。敵を欺くためにそれまで各自家に帰り待機するように」

今考えれば、これは師団長の咄嗟の機転による尤もらしい嘘の説得であつた。この説得によって1000人近い人命が救われたのである。

私達が平和を存続し、次の世代に平和の尊さを教え伝えていくことこそ戦争で尊い生命を亡くした多くの人達に報いる只一つの道であり、私たちの使命であると確信している。

昭和63年、川口市戦争体験記優秀賞受賞

川口市 高橋 義一

戸田市老連「電話等による友愛活動 マニュアル」の推進について

戸田市に於ては、令和2年度8月より女性部活動として「電話等による安否確認、声かけ、訪問等」を行っておりました。他市老連活動報告書を参考とさせて頂きました。女性部有志の役員で18単位クラブのみで始めましたが、コロナウイルス感染症拡大の中、予防には細心の注意が必要でした。電話又訪問に於ては、特に一人ぐらしの方や外出困難者には大変喜ばれたとの声が聞かれました。成果は大いにあったと思います。



令和3年に入りますます感染症が厳しくなり全ての行事は中止を余儀なくされました。唯一、公園でのラジオ体操は自己管理のもと

続けておりました。

10月より緊急事態解除の報で、かねてより目標の戸田市全域での「友愛活動推進」ということで県老連事務局より椎名主幹の出張を頂き、理事会開催の運びとなりました。

「電話等による友愛活動マニュアル」を元に先駆者の川越市老連の事例を参考として、会長はじめ各地区理事の熱意が感じられました。今後の単位クラブへの周知と理解を得ることが大切な第一歩と思います。

市老連、女性部一体となって実施の方向へ進むことを決議しました。

コロナ禍で私達高齢者は想像以上に変化が起っています。身体の変化、心の変化、自分に自信が持てない状態です。楽しく、有意義な日常を取り戻したい。切に望んでいます。

戸田市 石川 みよ子

さいたまシニアクラブ会長漫遊

コロナ禍が約一年半以上続いている。昨年度から新会長として就任された品川会長は、活動が制限されるなかで、市内10区の役員会に出席し、各区との繋がりを築くため各区を訪問することを精力的にすすめてきました。

令和3年9月、コロナ感染症拡大も少し落ち着きを見せた時期の役員会に品川惣壽会長が出席されました。さいたま市10区全部を訪問予定で、大宮区は6区目です。各区の役員の方々と「老人クラブ活動の認識の共有」したいとの事です。当日配布された資料になんとベートベンの交響曲第九「運命」の合唱「歓喜の歌」の楽譜とドイツ語の歌詞。品川会長は挨拶で、県老連主催の「健康づくり大学」について、20年度は学生として参加した。21年度は30名の学生で、さいたま市が6名。大宮区から4名。大宮区は毎年入学者が居ると聞いています。さいたま市も全10区から参加者が出ることを期待したい。人材育成のために活用して欲しい。

自己紹介に代えて、「歓喜の歌」をみなさんと一緒に歌わせてください。

その後、全員で集合写真撮影。飾られない普段着の品川会長の一面が見られ求心力となりました。お土産までありがとうございました。

さいたま市 渡辺 充



第11回グラウンド・ゴルフ大会報告

さいたまシニアクラブは、コロナ禍の感染が下火となった10月19日(火)グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。開催までは今年も中止なら2年連続となりそうでした。

何とか開催となりました。例年は各区からの参加者が160名を越す規模でありましたが、今回は100名規模で実施。

急に冬と思える気温のなか、開催のよるこびの熱気が上回りました。

参加したのは、北区・西区・見沼区・中央区・浦和区・緑区・桜区・岩槻区でした。全10区から参加とならなかったのは残念でした。グラウンドの状態は、芝の密度が前年よりしつかりしていて、ピョンピョピョンと飛び上がりが少ない様でした。

この会場はグラウンド・ゴルフ専用で、天然芝がきちんと敷き詰められており、いつもは学校のグラウンドでやっているため、球の転がり具合に悩んでいた方々もいました。

来年は、さいたまシニアから、熊谷で開催される県大会に参加するチームを出したいものです。上位入賞者とスコアは以下の通りです。



優勝	北区	鈴木 幸二	72点
準優勝	西区	小坂 宣夫	75点
3位	見沼区	青木 茂樹	77点
4位	西区	齊田 二郎	77点
5位	北区	青木 和世	78点
6位	岩槻区	榎本 勉	79点
7位	見沼区	大金 節子	79点
8位	岩槻区	須永 昭雄	80点
9位	中央区	加藤 善太郎	81点
10位	見沼区	朝日 清	81点

市営の公認グラウンド・ゴルフ場のホームページ (宝来グラウンド・ゴルフ場 西区)
<https://www.saispo.jp/horai/> 隣にある「西楽園」でも楽しめます。



一位・二位・三位



ホールインワン目指せ



四位～十位



待機してくれていた看護婦さん



開会挨拶の品川会長

さいたま市 渡辺 充

〈11月以降の県老連事業日程について〉

11月

・1日(月)

県老連正副会長会議 13時30分
大宮ソニックスシティ(604会議室)

・5日(金)

第6回広報委員会 13時
すこやかプラザ

・10日(水)、17日(水)、24日(水)

健康づくり大学講座 13時～15時
すこやかプラザ。30日(火) 大宮体育館10時～14時

・18日(木)

第2回会員増強推進委員会 13時30分
大宮ソニックスシティ

・22日(月)

第1回女性委員会 13時30分
大宮ソニックスシティ

12月

・1日(水)

第7回広報委員会 13時
すこやかプラザ

・8日(水)、14日(火)、22日(水)

健康づくり大学講座 13時～15時
すこやかプラザ

・9日(木)

女性委員会コーラス練習 春日部市中央公民館 13時30分

・13日(月)

市町村老人クラブ連合会会長研修会 13時30分
すこやかプラザ

・16日(木)

第3回会員増強推進委員会 13時30分
すこやかプラザ

・23日(木)

理事会 13時
東天紅(JACK大宮)

令和4年1月

・12日(水)

女性委員会コーラス練習 春日部市中央公民館 13時30分

・14日(金)

友愛活動研修会(健康づくり大学公開講座) 参加対象 東部・南部地区 13時
セミナホール

・18日(火)

第2回女性委員会 13時30分
セミナホール

・21日(金)

友愛活動研修会(健康づくり大学公開講座) 参加対象 西部・北部地区 健康づくり大学生 13時
セミナホール

・28日(金)

第8回広報委員会 13時
すこやかプラザ

2月

・4日(金)

女性リーダー日帰り研修会 参加対象 東部地区 南部地区 13時
セミナホール

・10日(木)

県老連創立60周年記念埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会 13時30分
彩の国さいたま芸術劇場

・14日(月)

女性リーダー日帰り研修会 参加対象 西部地区 北部地区 13時
セミナホール

・18日(金)、24日(木)

健康づくり大学講座 13時～15時
すこやかプラザ

・22日(火)

第9回広報委員会 13時
すこやかプラザ

3月

・7日(月)

健康づくり大学講座 13時～15時30分
すこやかプラザ

・9日(水)

理事会 13時
すこやかプラザ

・11日(金)

健康づくり大学卒業式 11時30分
東天紅大宮店

・17日(木)・18日(金)

女性リーダー一泊研修会 太陽の里(千葉県)

※3月に東西南北の地区連絡協議会の開催予定(日程未定)

編集後記

人生で大切な事は色々有りましたが、自分をゆっくり見直す事はなんとなく希薄だったのでは。コロナで、友達や孫にも会えず、テレビのニュースに愚問を感じたり、読む事より、見る時間がなぐくなり、生活の中でも無口になり。この様な時こそ、自分の健康状態を見直す時期では。歳をとっても中々自分を見直したり、考える事が少なかったのでは。生活の流れにまかせ、他人を見るのも大切だが、チョット自分を見るのも、この時期、チャンスではないでしょうか。振り返ったり、前を見るのも大切だが、自分を大切に、が一番ではないでしょうか。その上で、来年はコロナ後の友達や、孫、家族と元気に溢れた自分が、腰を伸ばして会っているのではないのでしょうか。この県老連彩愛クラブ埼玉の、フレイル予防で健康、寿命をのばそうと、各クラブの中で一段と社会参加して、一皮むけた自分が笑顔になっているのでは、そんな皆さんと逢いたいと思います。

新座市 伊藤 史郎

「彩愛クラブ埼玉」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

